

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜
学 力 検 査 結 果 （ 得 点 状 況 等 ）

鳥取県教育委員会

令和7年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和7年度	26.8	28.7	26.6	23.7	27.2	133.0

令和7年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 2,500人
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去14年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和6年度	31.5	23.9	23.8	27.0	25.4	131.5
令和5年度	30.9	31.8	26.9	26.0	28.2	143.8
令和4年度	31.8	24.7	26.7	28.2	25.8	137.1
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～ 2	1	8	22	24	3
3	～ 4	1	8	36	42	14
5	～ 6	10	29	42	82	48
7	～ 8	17	44	56	106	71
9	～ 10	32	49	61	129	129
11	～ 12	61	61	74	144	130
13	～ 14	78	92	80	123	129
15	～ 16	99	87	112	144	103
17	～ 18	126	120	136	129	129
19	～ 20	160	91	136	114	99
21	～ 22	175	127	143	150	96
23	～ 24	185	119	157	133	106
25	～ 26	227	142	170	131	105
27	～ 28	223	134	163	133	120
29	～ 30	213	174	153	119	101
31	～ 32	201	193	166	125	132
33	～ 34	204	171	144	117	130
35	～ 36	183	165	136	113	141
37	～ 38	135	191	114	117	149
39	～ 40	90	152	115	116	133
41	～ 42	47	146	85	91	140
43	～ 44	23	82	77	56	116
45	～ 46	7	76	62	41	99
47	～ 48	2	25	42	16	59
49	～ 50	0	11	17	2	17
受検者数		2,500	2,497	2,499	2,497	2,499

【総得点における度数分布】

総得点			人数
0	～	5	0
6	～	10	1
11	～	15	1
16	～	20	3
21	～	25	2
26	～	30	7
31	～	35	19
36	～	40	28
41	～	45	26
46	～	50	29
51	～	55	39
56	～	60	39
61	～	65	56
66	～	70	58
71	～	75	60
76	～	80	66
81	～	85	58
86	～	90	77
91	～	95	65
96	～	100	57
101	～	105	68
106	～	110	77
111	～	115	87
116	～	120	86
121	～	125	80

総得点			人数
126	～	130	81
131	～	135	92
136	～	140	88
141	～	145	74
146	～	150	93
151	～	155	87
156	～	160	70
161	～	165	77
166	～	170	68
171	～	175	92
176	～	180	81
181	～	185	76
186	～	190	83
191	～	195	94
196	～	200	69
201	～	205	70
206	～	210	47
211	～	215	26
216	～	220	20
221	～	225	12
226	～	230	8
231	～	235	2
236	～	240	1
241	～	245	0
246	～	250	0
受検者数			2,500

令和7年度鳥取県立高等学校入学選抜学力検査の出題のねらいと分析

【 国 語 】

＜出題のねらい＞

知識及び技能を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。

＜分析＞

- ・基礎的・基本的な言語事項を問う問題において、手紙の知識を問う問題は、正答率がかなり低いものがあつた。文法の知識を問う問題は、文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることに課題が見られ、正答率も5割に満たなかった。漢文の知識を問う問題は、漢文の形式の理解が不十分だった。
- ・文学的な文章において、語句の意味を問う問題の正答率は、2割程度にとどまった。登場人物の心情を説明する記述問題の正答率が低かった。
- ・説明的な文章において、文章全体と部分との関係に注意しながら、具体的に表現し、解答する力に課題がある。
- ・古文において、全体の文脈を問う問題について正答率がやや低かった。
- ・作文において、自分の考えが伝わる文章になるように、与えられた条件に従い、資料やグラフを結び付け、根拠を明確にして書くことに課題がある。
- ・正しく読み書きする基本となる文法の分野において、言葉の係り受けの関係を正しく理解する必要がある。
- ・文学的な文章において、文章の流れの中にある意味や内容の繋がりを正確に理解し、言葉や文章で直接的には表現されていない真意や心情を読み取る力が求められる。
- ・説明的な文章において、対比関係を明確にし、全体の内容を把握したうえで、部分を理解しようとする姿勢が求められる。

【 社 会 】

＜出題のねらい＞

社会的事実に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題した。

＜分析＞

- ・基本的な知識や概念を問う問題についての正答率は高かった。
- ・社会的な見方・考え方を働かせながら、資料等を読み取り思考する問題において、無答率が低かった。
- ・並べ替え問題の正答率は昨年より低く、歴史的なできごとと資料を関連付けることができなかった結果であると考えられる。
- ・雨温図の読み取りに関する問題の正答率は昨年と同様に低かった。
- ・複数の資料を活用して地域的特色をつかむ問題や、資料をもとに、既習の知識を活用し、思考、判断し説明する問題において、適切に資料を読み取っている解答が多かった。
- ・グラフを読み取る問題において、既習知識と適切に関連付ける解答が少なかった。
- ・地理的分野では、世界の各州の地域的特色や課題、また、世界の各地域と日本の結び付き等に着目し、多面的・多角的に考察する力が求められる。
- ・歴史的分野では、各時代の特色の適切な理解とともに、特に近現代において、日本と世界の動きとの関連に着目しながら、社会の変化の様子を的確に捉えることが重要である。
- ・公民的分野では、現代の社会生活や国際社会の動向と関連付けながら、課題について公正に判断し、表現する力が必要である。
- ・小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する公民としての資質・能力を育成する授業づくりが求められる。

【 数 学 】

＜出題のねらい＞

基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、既習の基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察する力をみる問題を出題した。

＜分析＞

- ・ 基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高く、学習の成果がみられる。
- ・ 関数の定義や変化の割合に関する問題や、図形の性質を利用して解く問題の正答率が低かった。
- ・ 必要な情報を整理して立式する問題、問題の意図をくみ取って解答する問題の正答率が低かった。
- ・ 基礎となる事柄のより一層の定着を図り、それらを基に根拠や理由に着目して考えさせる指導、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決を図る学習過程を、より充実させていくことが重要である。

【 理 科 】

＜出題のねらい＞

理科については、基礎的・基本的な知識を問う問題や、観察・実験の結果を読み取り考察する問題を出題した。

＜分析＞

- ・ 重要語句等の知識を問う問題の正答率が高かったが、説明や作図問題、化学反応式の正答率が低く、計算問題の無答率もやや上昇し、平均点は昨年度よりやや下がった。
- ・ 与えられた条件や実験結果などを整理し、規則性や関係性を見いだすことやそれらを用いて数値を求めることなどに課題が見られた。
- ・ 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、日常的な体験と関連付けて科学的に探究する態度を育てたい。
- ・ 授業において、生徒自身が問題を見だし、自ら進んで探究する活動を行い、分析して解釈することを通して、規則性を見いだしたり、課題を解決したりする学習活動が大切である。
- ・ 観察・実験で得られたデータを分析し、根拠を明らかにして説明したり、グラフ等を用いて論理的に相手に伝え、対話することで、自らの考えをより深めたりする活動の充実が求められる。

【 英 語 】

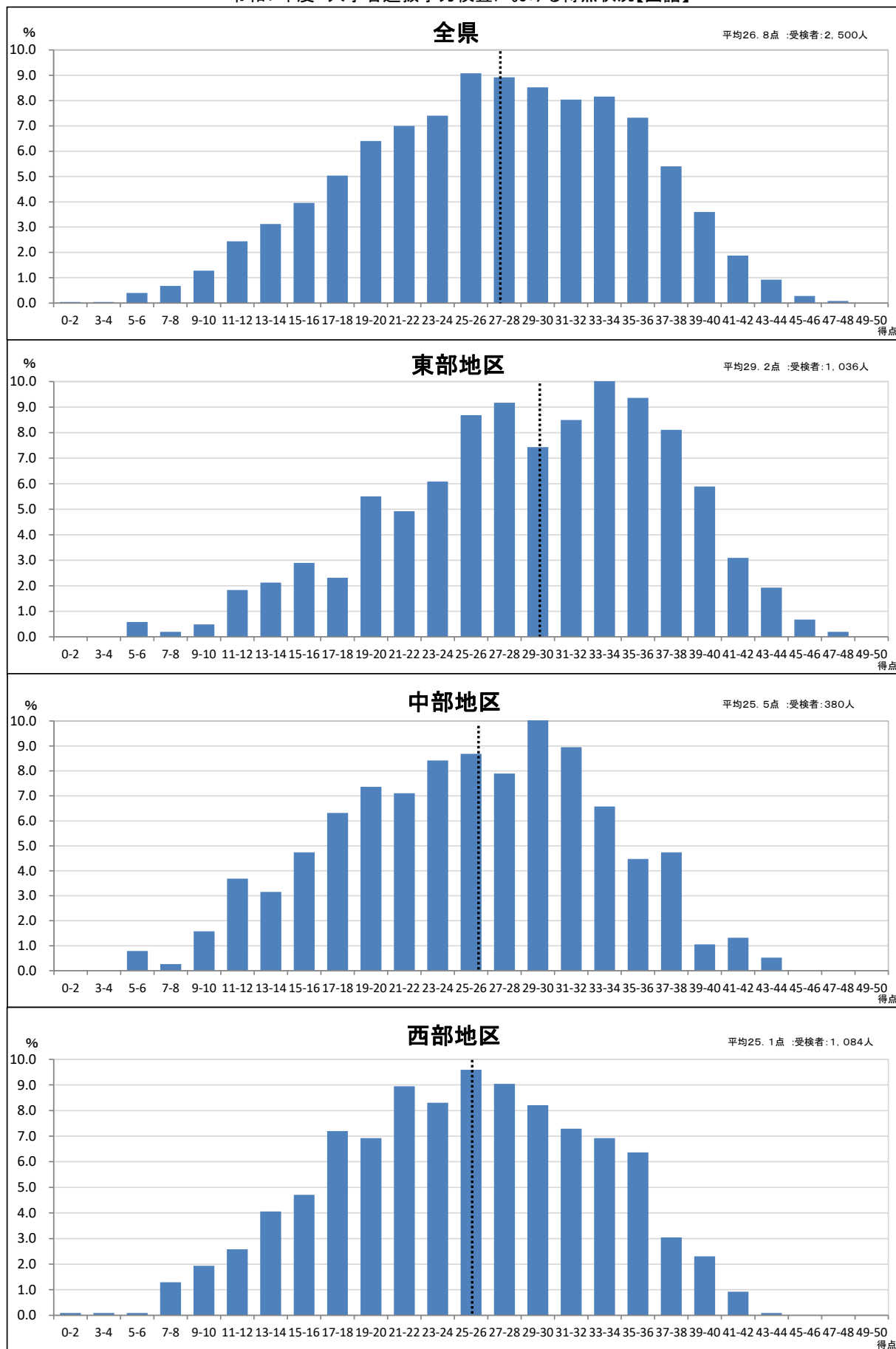
＜出題のねらい＞

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話や、日常的及び社会的な話題に関するまとまりのある文章を題材に出題した。

＜分析＞

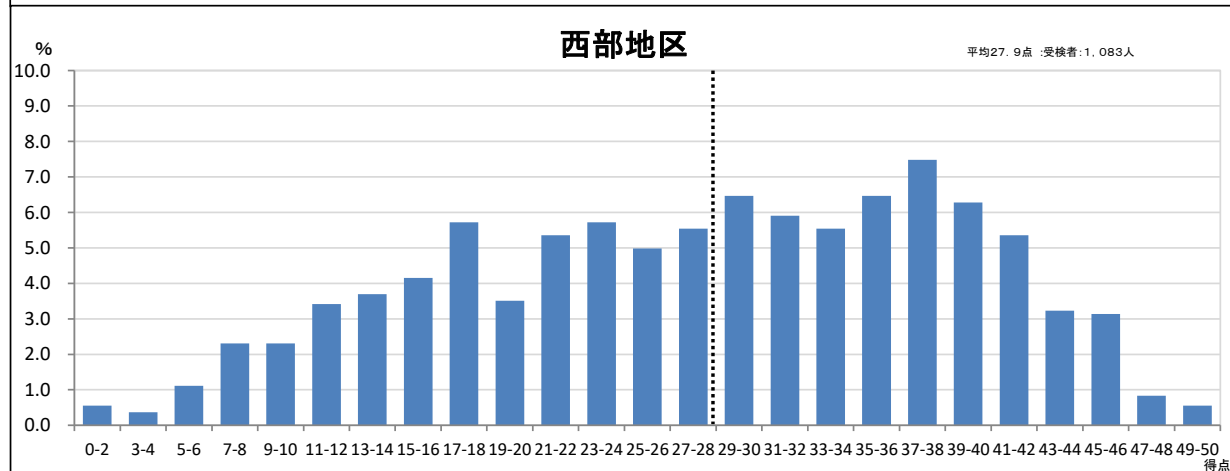
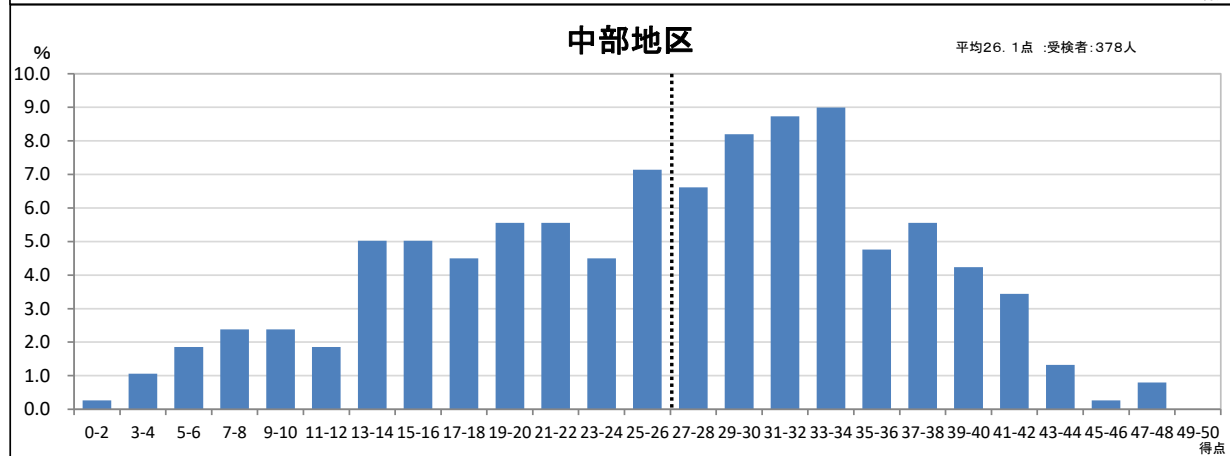
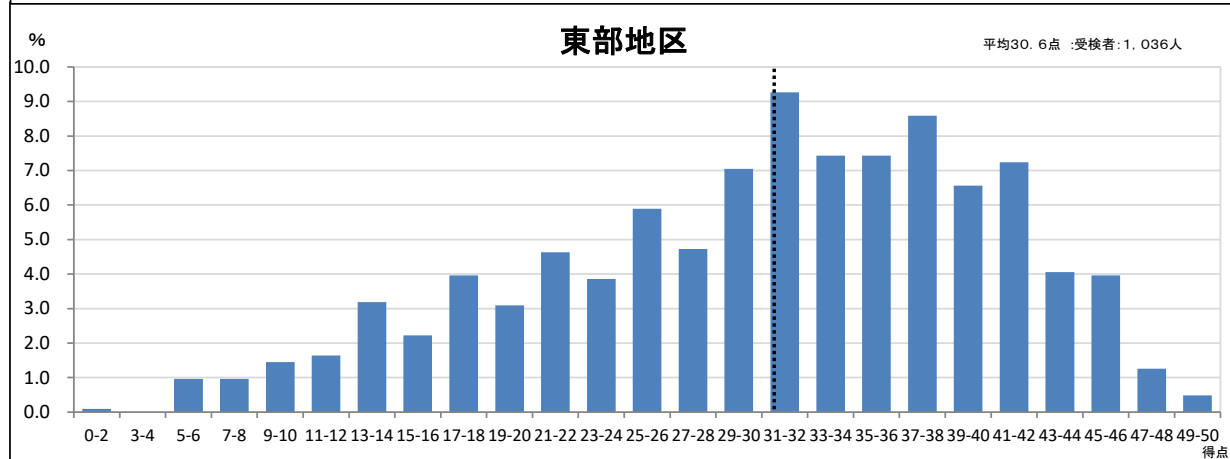
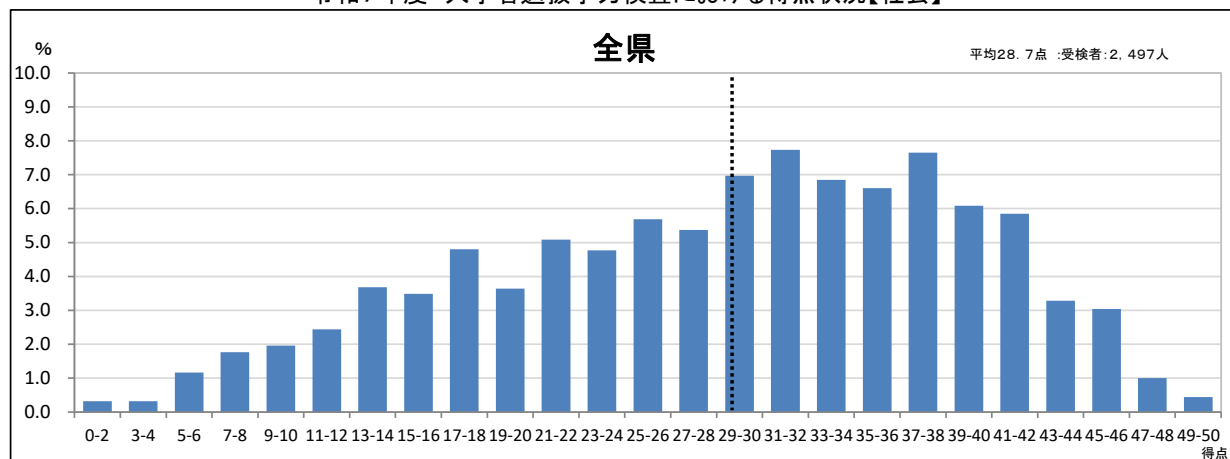
- ・ 英文を聞いたり読んだりして、答えにつながるキーワード等を参考にして情報や要点を捉える問題の正答率は高かったが、複数の情報を整理・統合し的確に理解する問題や、聞き取った内容をふまえて場面に応じた英文を書く問題、知識・技能を活用して文を完成したり、自分の考えを表現したりする問題の正答率は低かった。
- ・ 今後は、普段の授業において、深い理解を促す活動の工夫や、考えや情報などを適切に表現するための言語面の正確さを高める指導、及び複数の領域を統合した言語活動の充実が求められる。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



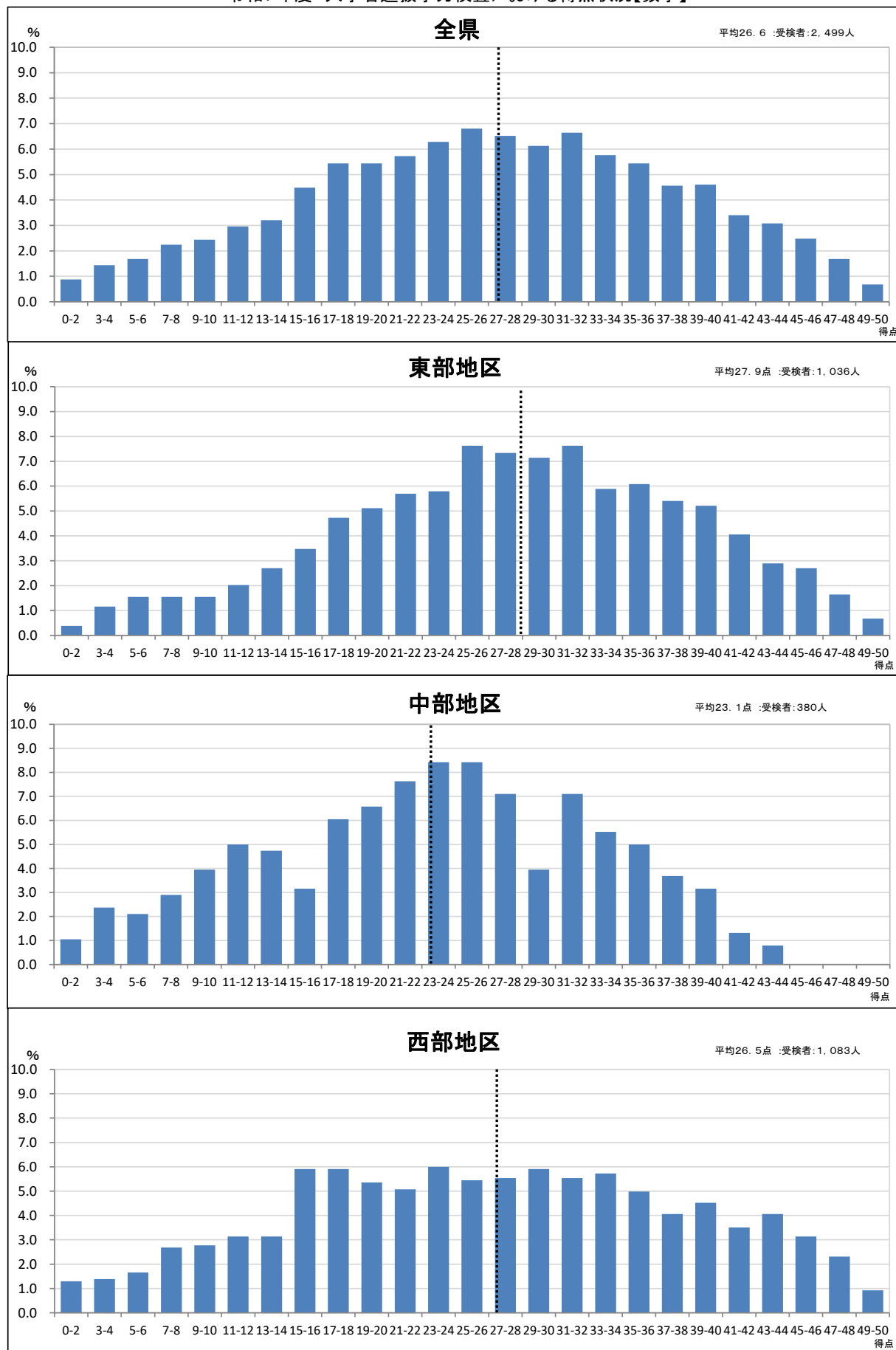
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



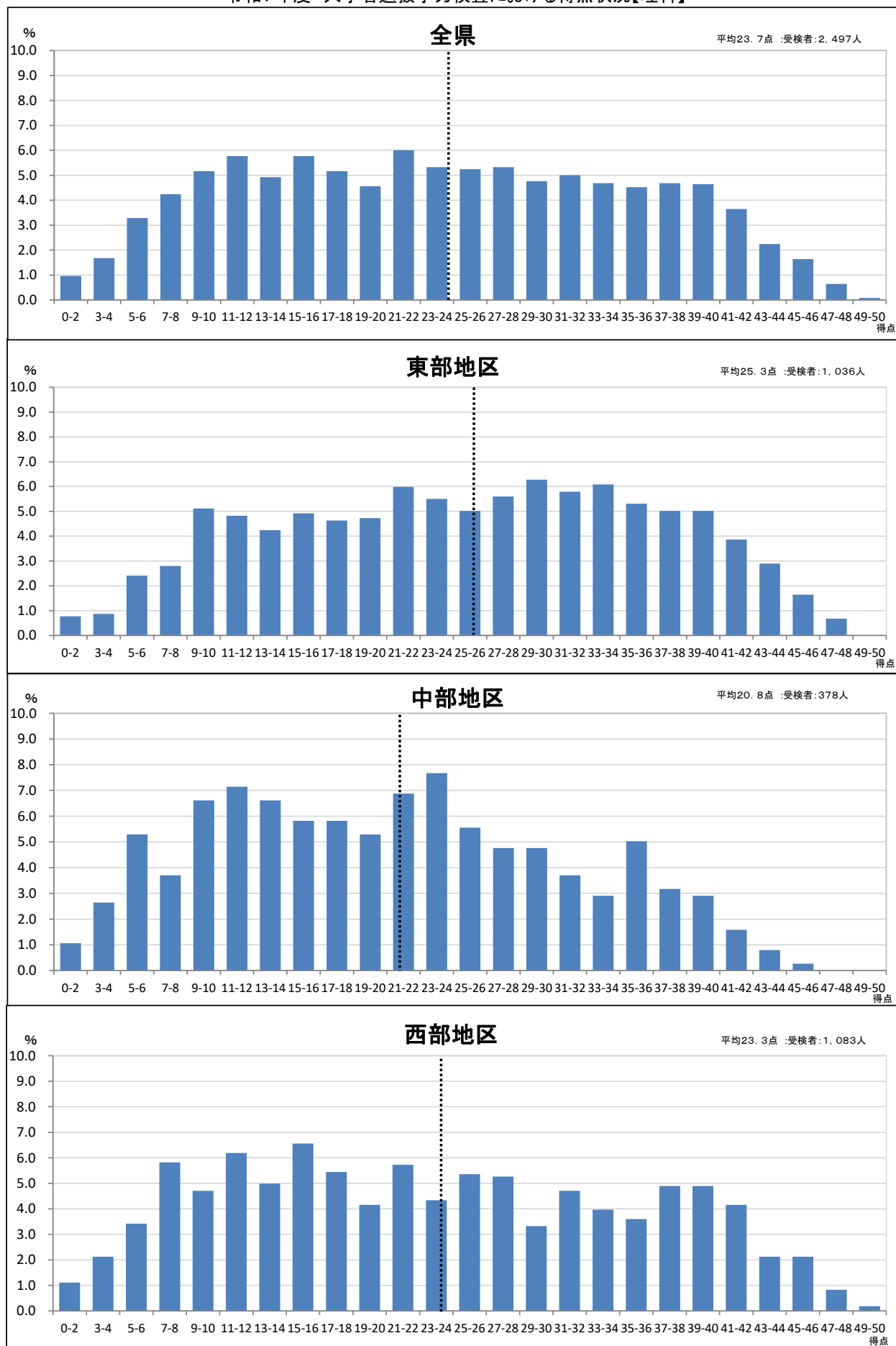
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



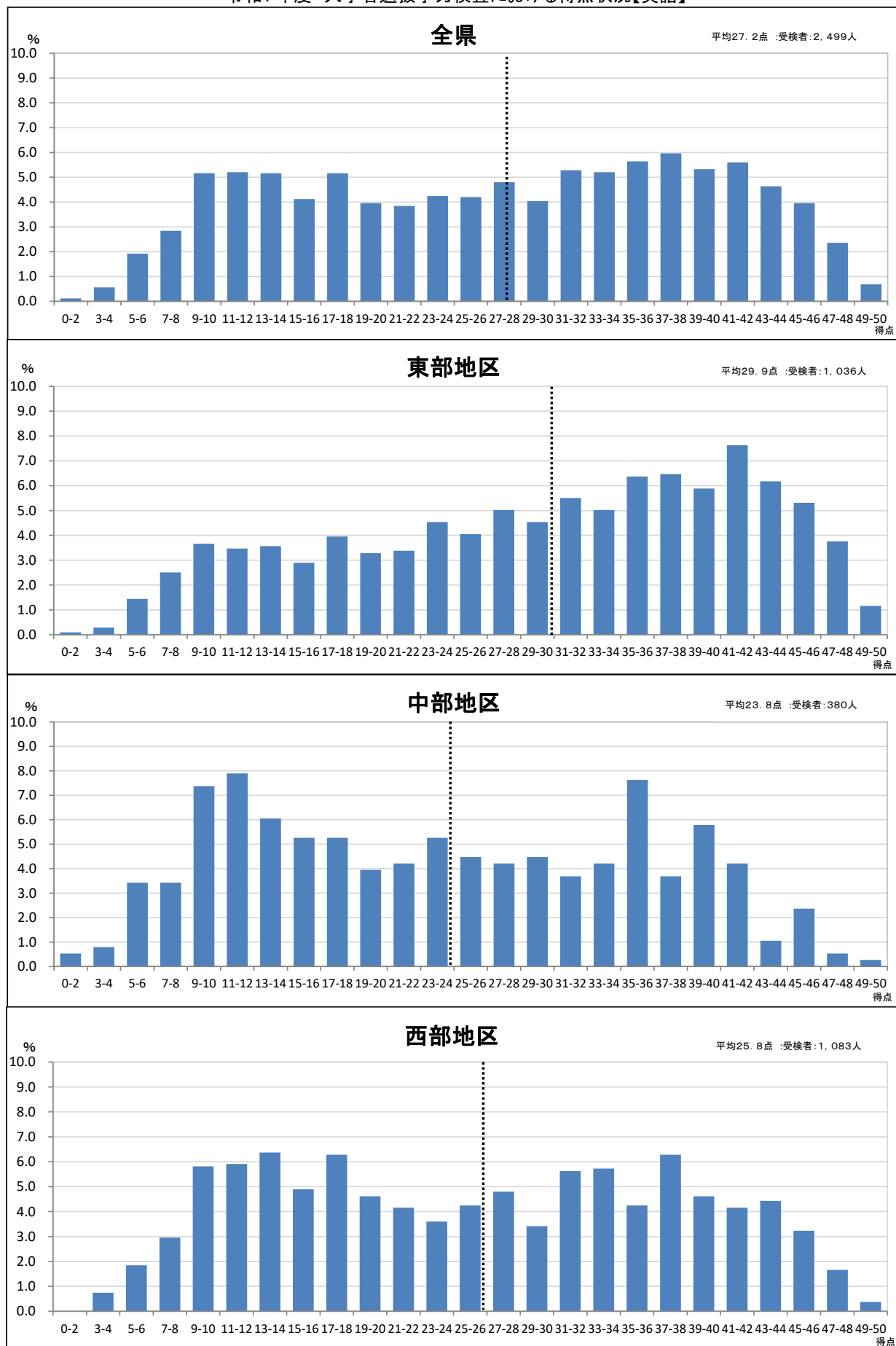
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



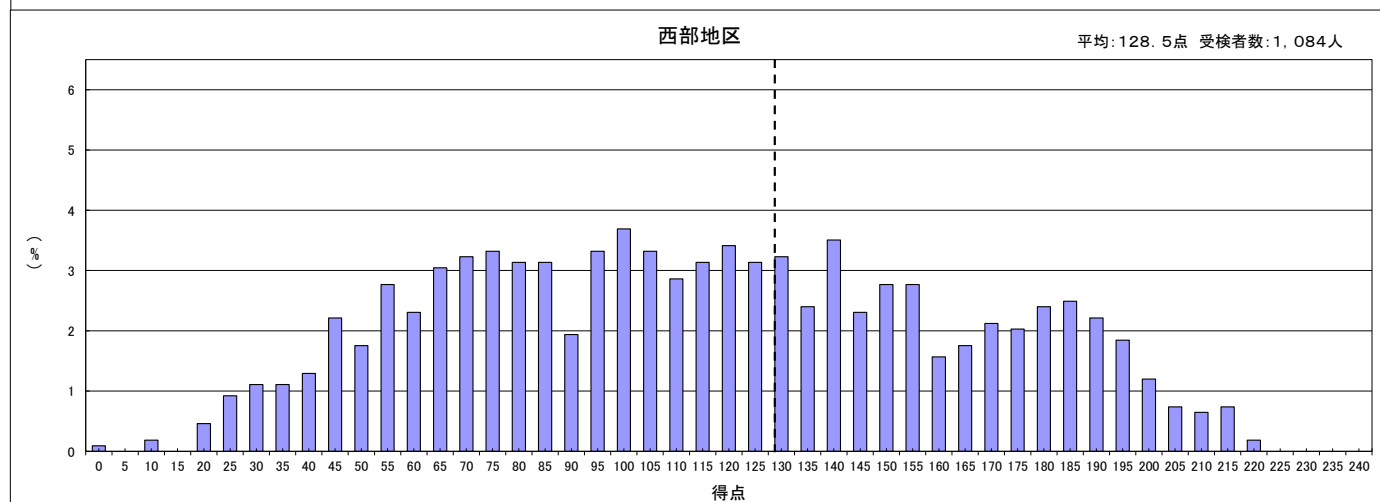
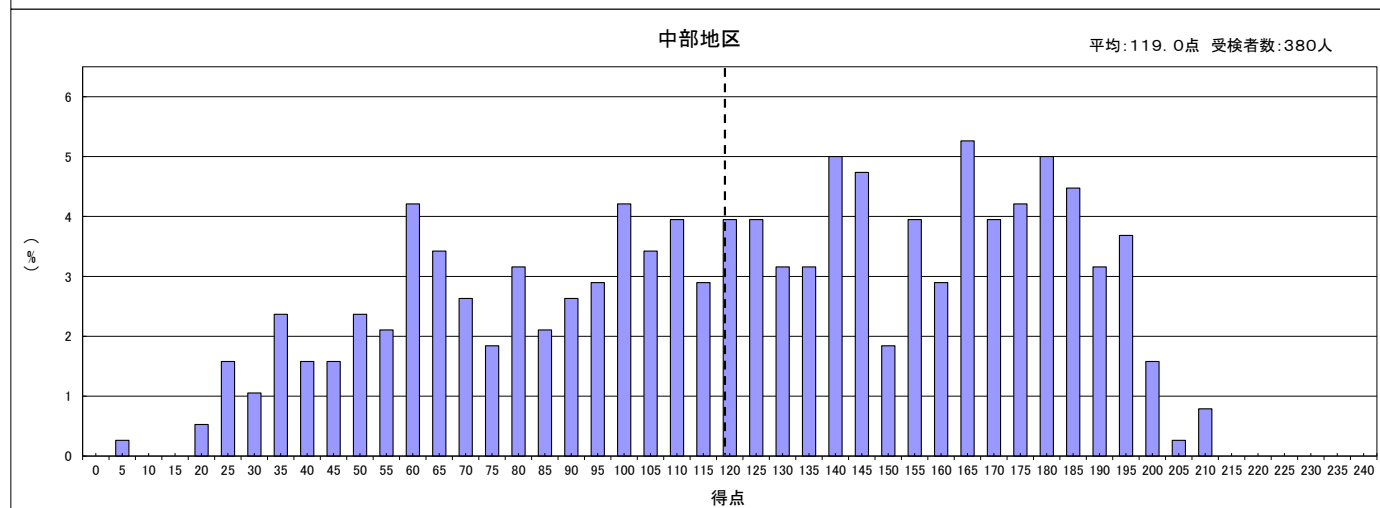
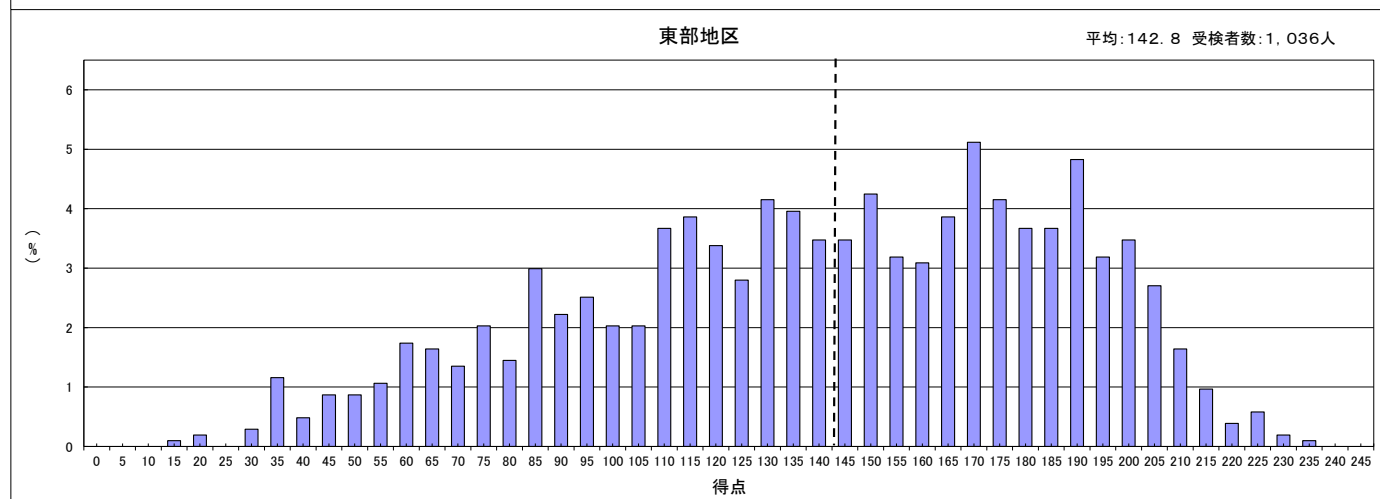
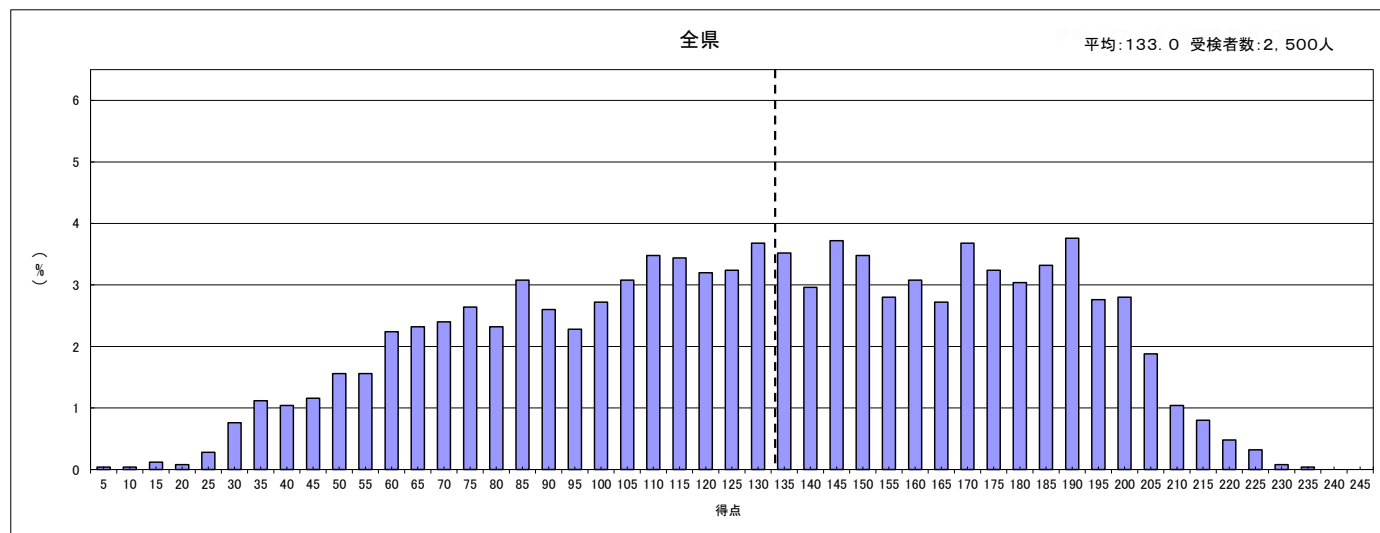
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和7年度 鳥取県立高等学校入学選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：147）

問題番号			内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題一	問一	(1)	漢字の読み	記述	143	95.3%	0	0.0%	4	2.7%	0	0.0%
		(2)	漢字の読み	記述	119	79.3%	0	0.0%	24	16.0%	4	2.7%
		(3)	漢字の書き	記述	90	60.0%	0	0.0%	50	33.3%	7	4.7%
		(4)	漢字の書き	記述	98	65.3%	0	0.0%	35	23.3%	14	9.3%
	問二	(1)	手紙の知識	記号	14	9.3%	0	0.0%	133	88.7%	0	0.0%
		(2)	文法の知識	記号	72	48.0%	0	0.0%	75	50.0%	0	0.0%
		(3)	文法の知識	記述	68	45.3%	0	0.0%	76	50.7%	3	2.0%
		(4)	手紙の知識	記号	106	70.7%	0	0.0%	38	25.3%	3	2.0%
	問三		漢文の知識	記述	55	36.7%	0	0.0%	48	32.0%	44	29.3%
問題二	問一		語句の知識	記号	35	23.3%	0	0.0%	112	74.7%	0	0.0%
	問二		内容の理解	記述	15	10.0%	46	30.7%	69	46.0%	17	11.3%
	問三		内容の理解	記述	13	8.7%	24	16.0%	85	56.7%	25	16.7%
	問四		内容の理解	記号	120	80.0%	0	0.0%	27	18.0%	0	0.0%
	問五		内容の理解	記号	120	80.0%	0	0.0%	26	17.3%	1	0.7%
	問六		内容の理解	記号	83	55.3%	0	0.0%	64	42.7%	0	0.0%
問題三	問一		内容の理解	記号	132	88.0%	0	0.0%	14	9.3%	1	0.7%
	問二		内容の理解	記号	142	94.7%	0	0.0%	5	3.3%	0	0.0%
	問三		内容の理解	記述	17	11.3%	38	25.3%	64	42.7%	28	18.7%
	問四		内容の理解	記号	110	73.3%	0	0.0%	37	24.7%	0	0.0%
	問五		内容の理解	記号	91	60.7%	0	0.0%	52	34.7%	4	2.7%
	問六	I	内容の理解	記述	69	46.0%	0	0.0%	46	30.7%	32	21.3%
		II	内容の理解	記述	74	49.3%	0	0.0%	39	26.0%	34	22.7%
	問七		内容の理解	記号	90	60.0%	0	0.0%	53	35.3%	4	2.7%
問題四	問一		古文の知識	記述	115	76.7%	0	0.0%	28	18.7%	4	2.7%
	問二		内容の理解	記号	106	70.7%	0	0.0%	40	26.7%	1	0.7%
	問三	(1)	内容の理解	記述	28	18.7%	19	12.7%	86	57.3%	14	9.3%
		(2)	内容の理解	記号	46	30.7%	0	0.0%	95	63.3%	6	4.0%
問題五	問一		内容の理解	記述	66	44.0%	14	9.3%	52	34.7%	15	10.0%
	問二		内容の理解	記号	93	62.0%	0	0.0%	47	31.3%	7	4.7%
	問三		内容の理解	記述	16	10.7%	95	63.3%	20	13.3%	16	10.7%

令和7年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】（答案数：147）

			内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	(1)	正距方位図法におけるアフリカ大陸の位置	記号選択	131	89.1%	0	0.0%	16	10.9%	0	0.0%
		(2)	4都市における雨温図の読み取り	記号選択	41	27.9%	0	0.0%	105	71.4%	1	0.7%
		(3)P	日本とフランスの時差	数字	101	68.7%	0	0.0%	41	27.9%	5	3.4%
		(3)Q	日本からフランスまでの飛行時間	数字	51	34.7%	0	0.0%	91	61.9%	5	3.4%
		(4)①	ブラジルの位置と特色	記号選択	70	47.6%	0	0.0%	76	51.7%	1	0.7%
		(4)②	日本の輸入の特色(スウェーデン, ブラジル, オーストラリア)	記号選択	81	55.1%	0	0.0%	64	43.5%	2	1.4%
	問2	(1)X	長野県の工業の特色	語句記述	62	42.2%	0	0.0%	62	42.2%	23	15.6%
		(1)Y	長野県の工業立地の特色	語句記述	90	61.2%	0	0.0%	42	28.6%	15	10.2%
		(2)	北海道と長野県の農業の特色	記号選択	111	75.5%	0	0.0%	35	23.8%	1	0.7%
		(3)①	自然災害(液状化現象)	語句記述	129	87.8%	0	0.0%	11	7.5%	7	4.8%
		(3)②	東京都における自然災害の特色	記号選択	100	68.0%	0	0.0%	44	29.9%	3	2.0%
	問3		自然災害への備え	説明	103	70.1%	11	7.5%	23	15.6%	10	6.8%
問題2	問1	(1)	大仙古墳(大山古墳)の位置	記号選択	111	75.5%	0	0.0%	36	24.5%	0	0.0%
		(2)	大陸の影響を受けた奈良時代の文化	語句記述	130	88.4%	0	0.0%	2	1.4%	15	10.2%
		(3)①	室町時代におこったできごとと説明・影響	記号選択	78	53.1%	0	0.0%	69	46.9%	0	0.0%
		(3)②	祇園祭を復興した室町時代の人々	記号選択	85	57.8%	0	0.0%	62	42.2%	0	0.0%
		(4)①	宗教改革の始まり	語句記述	91	61.9%	0	0.0%	41	27.9%	15	10.2%
		(4)②	長崎貿易の特徴	記号選択	40	27.2%	0	0.0%	107	72.8%	0	0.0%
	問2	(1)①	幕末における貿易の特徴	語句記述	49	33.3%	1	0.7%	88	59.9%	9	6.1%
		(1)②	幕末の日本のようす	記号選択	70	47.6%	0	0.0%	76	51.7%	1	0.7%
		(2)	明治政府による不平等条約の改正	語句記述	104	70.7%	0	0.0%	27	18.4%	16	10.9%
		(3)	19～20世紀におけるできごとについての並び替え	記号選択	25	17.0%	0	0.0%	122	83.0%	0	0.0%
		(4)①	太平洋戦争開戦前の日本とソ連との関係	語句記述	61	41.5%	0	0.0%	79	53.7%	7	4.8%
		(4)②	太平洋戦争開戦前の日本とアメリカとの関係	説明	89	60.5%	23	15.6%	20	13.6%	15	10.2%
問題3	問1	(1)	基本的人権の保障(自由権)	記号選択	112	76.2%	0	0.0%	35	23.8%	0	0.0%
		(2)	衆議院の優越	記号選択	53	36.1%	0	0.0%	94	63.9%	0	0.0%
		(3)①	国民審査	語句記述	88	59.9%	0	0.0%	50	34.0%	9	6.1%
		(3)②I	三権分立における抑制と均衡(違憲審査)	記号選択	98	66.7%	0	0.0%	46	31.3%	3	2.0%
		(3)②II	三権分立における抑制と均衡(内閣総理大臣の指名)	記号選択	120	81.6%	0	0.0%	26	17.7%	1	0.7%
	問2	(1)	日本の社会保障制度	記号選択	111	75.5%	0	0.0%	35	23.8%	1	0.7%
		(2)①	国際連合の機関の仕組みとはたらき	記号選択	83	56.5%	0	0.0%	63	42.9%	1	0.7%
		(2)②	UNHCRの役割	語句記述	91	61.9%	2	1.4%	43	29.3%	11	7.5%
		(3)①	労働市場における需要と供給の関係	記号選択	61	41.5%	0	0.0%	82	55.8%	4	2.7%
		(3)②	独占禁止法による不正行使の監視	語句記述	103	70.1%	0	0.0%	25	17.0%	19	12.9%
		(4) i	ワーク・ライフ・バランス(育児休業取得期間)	説明	110	74.8%	0	0.0%	28	19.0%	9	6.1%
		(4) ii	ワーク・ライフ・バランス(M字カーブとL字カーブ)	説明	46	31.3%	0	0.0%	89	60.5%	12	8.2%

【数学】（答案数：147）

問題番号			内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	(1)	正の数・負の数の計算	計算	146	99.3 %	0	0.0 %	1	0.7 %	0	0.0 %
		(2)	平方根を含む式の計算	計算	121	82.3 %	0	0.0 %	18	12.2 %	8	5.4 %
		(3)	多項式の計算	計算	90	61.2 %	0	0.0 %	53	36.1 %	4	2.7 %
		(4)	単項式の計算	計算	113	76.9 %	0	0.0 %	29	19.7 %	5	3.4 %
	問2		文字式の表し方（割合）	計算	84	57.1 %	0	0.0 %	50	34.0 %	13	8.8 %
	問3		因数分解（共通因数・和と差の積）	計算	80	54.4 %	0	0.0 %	47	32.0 %	20	13.6 %
	問4		連立方程式	計算	124	84.4 %	3	2.0 %	12	8.2 %	8	5.4 %
	問5		二次方程式（解の公式）	計算	109	74.1 %	0	0.0 %	25	17.0 %	13	8.8 %
	問6		一次関数	選択	77	52.4 %	0	0.0 %	67	45.6 %	3	2.0 %
	問7		関数 $y = ax^2$ （変化の割合）	計算	46	31.3 %	0	0.0 %	69	46.9 %	32	21.8 %
	問8		回転体の体積（球）	計算	69	46.9 %	0	0.0 %	65	44.2 %	13	8.8 %
	問9		作図（円の接線）	作図	40	27.2 %	13	8.8 %	59	40.1 %	35	23.8 %
	問10	(1)ア	場合の数	計算	115	78.2 %	0	0.0 %	23	15.6 %	9	6.1 %
		(1)イ	確率	計算	71	48.3 %	0	0.0 %	59	40.1 %	17	11.6 %
		(2)ウ	確率	記述	41	27.9 %	11	7.5 %	57	38.8 %	38	25.9 %
		(2)エ	確率	計算	48	32.7 %	0	0.0 %	64	43.5 %	35	23.8 %
問題2	問1		四分位数	計算	123	83.7 %	0	0.0 %	20	13.6 %	4	2.7 %
	問2		箱ひげ図	選択	111	75.5 %	0	0.0 %	35	23.8 %	1	0.7 %
	問3	(1)	箱ひげ図	計算	127	86.4 %	0	0.0 %	15	10.2 %	5	3.4 %
		(2)	箱ひげ図	計算	56	38.1 %	0	0.0 %	89	60.5 %	2	1.4 %
問題3	問1	(1)	文字の式	計算	91	61.9 %	0	0.0 %	39	26.5 %	17	11.6 %
		(2)	一次方程式	計算	116	78.9 %	0	0.0 %	18	12.2 %	13	8.8 %
		(3)	一次方程式【思考力】	選択	103	70.1 %	28	19.0 %	12	8.2 %	4	2.7 %
	問2	(1)	因数分解	計算	121	82.3 %	0	0.0 %	10	6.8 %	16	10.9 %
		(2)	二次方程式	選択	29	19.7 %	14	9.5 %	89	60.5 %	15	10.2 %
	問3		平方根	計算	50	34.0 %	0	0.0 %	41	27.9 %	56	38.1 %
問題4	問1		反比例	計算	116	78.9 %	0	0.0 %	13	8.8 %	18	12.2 %
	問2		関数 $y = ax^2$	計算	76	51.7 %	0	0.0 %	34	23.1 %	37	25.2 %
	問3	(1)ab	直角三角形の合同条件【証明】	選択	121	82.3 %	0	0.0 %	19	12.9 %	7	4.8 %
		(1)cd	直角三角形の合同条件【証明】	選択	88	59.9 %	0	0.0 %	44	29.9 %	15	10.2 %
		(2)	直角三角形の合同条件【証明】	記述	33	22.4 %	0	0.0 %	95	64.6 %	19	12.9 %
	問4		一次関数【思考力】	応用	41	27.9 %	1	0.7 %	32	21.8 %	73	49.7 %
	問5		等積変形【思考力】	応用	12	8.2 %	0	0.0 %	41	27.9 %	94	63.9 %
問題5	問1		三平方の定理	計算	74	50.3 %	0	0.0 %	45	30.6 %	28	19.0 %
	問2	(1)	おうぎ形の面積	計算	64	43.5 %	0	0.0 %	37	25.2 %	46	31.3 %
		(2)	おうぎ形の面積の利用	計算	26	17.7 %	3	2.0 %	44	29.9 %	74	50.3 %
	問3		平面図形【思考力】	応用	7	4.8 %	0	0.0 %	31	21.1 %	109	74.1 %

令和7年度 鳥取県高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】(答案数:147)

問題番号		内容	出題形式		正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	細胞呼吸についての理解	記述	語句	99	67.3%	0	0.0%	40	27.2%	8	5.4%
	問2	ヘモグロビンの性質についての理解	記述	説明	82	55.8%	4	2.7%	49	33.3%	12	8.2%
	問3(1)	動脈血が流れる血管	選択	記号選択	97	66.0%	0	0.0%	49	33.3%	1	0.7%
	問3(2)	心臓の弁の動き	選択	記号選択	43	29.3%	0	0.0%	104	70.7%	0	0.0%
	問3(3)	運動前後で全身に送り出される酸素量の違い	記述	計算	53	36.1%	0	0.0%	81	55.1%	13	8.8%
問題2	問1	混合物を加熱したときの温度変化を表すグラフを選択	選択	記号選択	60	40.8%	0	0.0%	87	59.2%	0	0.0%
	問2	ガスバーナーを消す前の実験操作の注意点	記述	説明	94	63.9%	9	6.1%	32	21.8%	12	8.2%
	問3	混合物中にあるエタノールの割合	記述	計算	48	32.7%	0	0.0%	71	48.3%	28	19.0%
	問4	蒸留のしくみ	選択	記号選択	87	59.2%	0	0.0%	60	40.8%	0	0.0%
問題3	問1	太陽の動き・宇宙における地球の位置	選択	記号選択	104	70.7%	0	0.0%	43	29.3%	0	0.0%
	問2(1)	太陽光の入射方向	選択	記号選択	65	44.2%	0	0.0%	82	55.8%	0	0.0%
	問2(2)	南中高度の求め方	記述	計算	37	25.2%	0	0.0%	103	70.1%	7	4.8%
	問3	観測地による昼間の長さ、日射量の違い	選択	記号選択	16	10.9%	0	0.0%	130	88.4%	1	0.7%
問題4	問1	磁界の向き	選択	記号選択	48	32.7%	0	0.0%	98	66.7%	1	0.7%
	問2	発生する誘導電流の向き	選択	記号選択	24	16.3%	0	0.0%	122	83.0%	1	0.7%
	問3	電磁誘導(ワイヤレス充電)のしくみ	選択	記号選択	73	49.7%	0	0.0%	73	49.7%	1	0.7%
	問4	発生する熱エネルギー(電力量)の計算	記述	計算	49	33.3%	0	0.0%	77	52.4%	21	14.3%
問題5	問1	対照実験の理解	記述	語句	127	86.4%	0	0.0%	8	5.4%	12	8.2%
	問2	実験結果の考察	選択	記号選択	126	85.7%	0	0.0%	21	14.3%	0	0.0%
	問3	菌類・細菌類の分類	選択	記号選択	101	68.7%	0	0.0%	46	31.3%	0	0.0%
	問4	炭素(有機物)の循環	選択	記号選択	35	23.8%	0	0.0%	110	74.8%	2	1.4%
問題6	問1	燃料電池についての理解	記述	語句	98	66.7%	0	0.0%	44	29.9%	5	3.4%
	問2(1)	反応する酸素と水素の体積の関係をグラフに作図	記述	作図	73	49.7%	4	2.7%	54	36.7%	16	10.9%
	問2(2)	反応する酸素と水素の体積比	記述	計算	102	69.4%	0	0.0%	36	24.5%	9	6.1%
	問3	燃料電池の化学反応式	記述	化学式等	55	37.4%	1	0.7%	58	39.5%	33	22.4%
	問4	二酸化炭素が地球環境に与える影響	選択	記号選択	57	38.8%	0	0.0%	89	60.5%	1	0.7%
問題7	問1	マグマの種類の違いによる火山活動の特徴	選択	記号選択	84	57.1%	0	0.0%	62	42.2%	1	0.7%
	問2	火成岩のつくり(等粒状組織)	記述	語句	91	61.9%	0	0.0%	43	29.3%	13	8.8%
	問3	斑晶のでき方についての理解	記述	説明	62	42.2%	12	8.2%	56	38.1%	17	11.6%
	問4(1)	有色鉱物の割合	記述	計算	31	21.1%	1	0.7%	67	45.6%	48	32.7%
	問4(2)	火成岩の同定	記述	語句	52	35.4%	0	0.0%	84	57.1%	11	7.5%
問題8	問1(1)	物体に働く水圧についての理解	選択	記号選択	76	51.7%	0	0.0%	70	47.6%	1	0.7%
	問1(2)	物体に働く浮力の作図	記述	作図	63	42.9%	3	2.0%	65	44.2%	16	10.9%
	問2	物体に働く浮力の大きさについての理解	選択	記号選択	48	32.7%	0	0.0%	93	63.3%	6	4.1%
	問3	物体に働く浮力による現象についての理解	選択	記号選択	47	32.0%	0	0.0%	96	65.3%	4	2.7%

令和7年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】(答案数: 147)

問題番号			内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題 1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	146	99.3%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	137	93.2%	0	0.0%	10	6.8%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	111	75.5%	0	0.0%	35	23.8%	1	0.7%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	68	46.3%	0	0.0%	79	53.7%	0	0.0%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	126	85.7%	0	0.0%	21	14.3%	0	0.0%
	問3	No.1	まとまりのある英文の聞き取り	記号選択	50	34.0%	0	0.0%	97	66.0%	0	0.0%
		No.2	まとまりのある英文の聞き取り	記号選択	82	55.8%	0	0.0%	65	44.2%	0	0.0%
	問4	(1)	やや長めの対話の聞き取り	記号選択	119	81.0%	0	0.0%	27	18.4%	1	0.7%
		(2)	やや長めの対話の聞き取り	英文記述	37	25.2%	17	11.6%	38	25.9%	55	37.4%
問題 2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	37	25.2%	0	0.0%	97	66.0%	13	8.8%
		No.2	対話文中の単語補充	単語補充	95	64.6%	0	0.0%	42	28.6%	10	6.8%
		No.3	対話文中の単語補充	単語補充	47	32.0%	0	0.0%	85	57.8%	15	10.2%
	問2	No.1	英文中の単語補充	記号選択	102	69.4%	0	0.0%	45	30.6%	0	0.0%
		No.2	英文中の単語補充	記号選択	118	80.3%	0	0.0%	29	19.7%	0	0.0%
	問3	語形変化及び不足語補充		英文部分記述	35	23.8%	37	25.2%	43	29.3%	32	21.8%
問題 3	問1	①	対話文完成(英文記述)	英文記述	51	34.7%	30	20.4%	43	29.3%	23	15.6%
		②	対話文完成(英文記述)	英文記述	29	19.7%	28	19.0%	68	46.3%	22	15.0%
	問2	テーマ英作文(情報提供(意味と使用場面))		テーマ英作文	25	17.0%	121	37.4%	35	23.8%	32	21.8%
問題 4	問1	(1)	・内容把握(グラフ選択)	記号選択	109	74.1%	0	0.0%	38	25.9%	0	0.0%
		(2)	・内容把握(英文選択)	記号選択	81	55.1%	0	0.0%	66	44.9%	0	0.0%
	問2	・内容把握(語句選択)		記号選択	97	66.0%	0	0.0%	50	34.0%	0	0.0%
	問3	(1)	・内容把握(英文選択)	記号選択	72	49.0%	0	0.0%	75	51.0%	0	0.0%
		(2)	・内容把握(英文選択)	記号選択	60	40.8%	0	0.0%	86	58.5%	1	0.7%
問題 5	問1	・内容把握(段落要旨並べ替え)		記号整序	91	61.9%	0	0.0%	56	38.1%	0	0.0%
	問2	・内容把握(イラスト選択)		記号選択	113	76.9%	0	0.0%	33	22.4%	1	0.7%
	問3	・内容把握(英文記述)		英文記述	54	36.7%	2	1.4%	44	29.9%	47	32.0%
	問4	・内容把握(英文選択)		記号選択	45	30.6%	0	0.0%	102	69.4%	0	0.0%
	問5	・内容把握(英文選択)		記号選択	97	66.0%	0	0.0%	48	32.7%	2	1.4%
	問6	・内容把握(英作文)		英文記述	33	22.4%	21	14.3%	37	25.2%	56	38.1%
						53.2%	4.5%	35.1%	7.3%			

《 国 語 》

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身に付いているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力をみる。
- 3 説明的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて、その理解力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、国語の学習の基礎的・基本的な言語事項について理解する力をみる問題構成とした。漢字の読み・書きに関する問題は正答率が高かった。文法の知識、漢文の知識を問う問題の正答率はそれぞれ5割を下回り、基本的な文法や手紙の書き方等について、今後も継続して、正しい理解・定着に努めたい。
- 2 問題二は、文学的な文章からの出題とし、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を理解する力、また、表現の効果について理解する力をみる問題構成とした。内容の理解度を問う問題については、記号選択問題では正答率が高かったが、文脈にあった語句の意味理解や記述問題では正答率が低かった。また表現について問う記号選択問題においては5割程度の正答率にとどまった。場面と描写に注意して、登場人物の心情や主題を読み取る力、表現について考える力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的な文章からの出題とし、論の展開・構成・内容・文脈を理解する力をみる問題構成とした。文章全体と部分との関係に注意しながら、具体的に表現して解答する問題について、正答率が低く、無答率も高かった。問題の傍線部周辺だけではなく、文章全体の構造を理解した上で、与えられた条件で内容を考える力を育成したい。
- 4 問題四は、古文の基本的な知識や内容を理解する力をみる問題構成とした。内容理解に関する問題は正答率が高かった。日頃の学習において、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方に触れたり、和歌などの鑑賞を取り入れたりしながら、古典に親しむ態度を育てたい。
- 5 問題五は、鳥取県の中学生在がPTA総会で保護者に向けてプレゼンテーションを行うための「話し合い」の場面を設定し、話すこと・聞くことに関する力を問う問題構成とした。また、話し合いの内容に関連して「フレイル予防」の資料やそれに関連したグラフを取り上げ、与えられた条件に従い、根拠を明確にして、自分の考えを的確に表現する力を問う問題構成とした。話すこと・聞くことに関する力を問う問題は正答率がやや高かった。作文においては、自分の考えが伝わる文章になるように、資料とグラフを結び付けながら根拠を明確にして書くことに課題がある。与えられた条件に従って、情報と情報を関連させながら根拠を明確にして自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要がある。

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色や課題について考察する地理的な見方・考え方が身に付いているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて思考、判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とし、問1は世界地理、問2は日本地理からの出題とした。問3は、鳥取県で実施しているSDGsに関する施策と、日常生活における自然災害への備えを関連付ける出題とした。問1(1)《正距方位図法におけるアフリカ大陸の位置》、問2(3)①《自然災害(液状化現象)》など、基本的な知識や概念を問う問題の正答率は高かった。問2(2)《北海道と長野県の農業の特色》では、既習知識と関連付けて、複数の資料を読み取ることが求められるが、高い正答率となった。問3《自然災害への備え》についても、会話の中にある情報を的確に読み取り、再生可能エネルギーなどに関する既習知識をもとに日常生活と結び付けた解答が多く、正答率は高かった。一方、問1(2)《4都市における雨温図の読み取り》、問1(4)《国の特色、日本との貿易》のように、国や地域の特色から統計資料などを読み取り、正解を導き出すような形式の問題の正答率が低かった。また、問1(3)《日本からフランスまでの飛行時間》のように、空間的な把握をもとに計算する問題の正答率も低かった。今後も、社会動向にも関心を持たせながら、単に地域的特色を理解するだけでなく、事象間の関連を考察しながら学習した地域的特色を総合的にとらえる力や、様々な資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し表現する力を養うことが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近世、問2は近世から現代までの歴史からの出題とした。問1(1)《大仙古墳(大山古墳)の位置》、問1(2)《大陸の影響を受けた奈良時代の文化》のように、基本的な知識を問う問題は正答率が高かった。問2(2)《明治政府による不平等条約の改正》のように、近世における基本的な知識を問う問題においても正答率が高かった。一方、問2(3)《19～20世紀におけるできごとについての並び替え》は、歴史的なできごとの認識だけでなく、資料の読み取りも必要となる融合問題であり、きわめて正答率が低かった。また、問1(4)②《長崎貿易の特徴》、問2(1)①《幕末における貿易の特徴》は、歴史的事象の把握だけでなく、時代における諸外国との関わりについての理解が求められるが、ともに正答率が低かった。問2(4)②《太平洋戦争開戦前の日本とソ連、アメリカとの関係》のように、既習事項を生かして思考、判断し説明する問題については、会話や資料等を読み取ることができていた。今後も、我が国の歴史の大きな流れを理解する学習とともに、諸外国との関連性など歴史的な見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問2(1)《日本の社会保障制度》、問2(3)②《独占禁止法による不正行使の監視》の正答率は7割を超え、基本的知識の定着が見られた。問1(3)②《三権分立における抑制と均衡》は、社会的事象について既習事項と関連付ける出題であったが、基本的知識の定着が見られ、正答率も高かった。問2(2)①《国際連合の機関の仕組みとはたらき》、問2(3)①《労働市場における需要と供給の関係》については、資料の読み取りだけでなく、既習知識をもとに問題文の読み取りや選択肢の読み取りなど読解力が求められる問題となり、正答率が低くなった。問2(4)ii《ワーク・ライフ・バランス(M字カーブとL字カーブ)》では、発表原稿と資料において、グラフ内の数値を適切に読み取り、既習知識と関連付けることが求められたが、正答率は低かった。今後は、公民的分野に関する知識を習得することに加え、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、判断し表現する力を養うことも重要である。
- 4 三分野とも、基本的な知識や概念の習得に成果が見られている。今後も中学校での学習において「何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)」「理解していること、できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)」の育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえた学習の充実が求められる。また、三分野の特質に応じた視点を生かした考察や構想(選択・判断)に向かう「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする学習の一層の充実が求められる。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身についているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方・考え方を働かせて、対象を論理的に考察し、問題解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力を問う問題を多く出題した。基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高かった。一次関数であるものを選ぶ問6の正答率52.4%、関数の変化の割合に関する問7の正答率31.3%と関数領域の力や、作図の問9の正答率27.2%と、図形の性質を利用して作図する力に課題が見られた。
- 2 問題2は、身近な場面をとりあげた資料を用いて、正しく分析、処理する力を問う問題とした。問3(2)の問題については、中央値に着目し、箱ひげ図を分析することで、データを比較していく問題だが、正答率38.1%と低かった。箱ひげ図についての正しい理解や、代表値を用いてデータを考察する力の育成が重要である。
- 3 問題3は、与えられた情報を処理し、式を用いて数理的に考察し、問題解決する力を問う問題とした。問1(1)は文字を用いて立式する問題、問2(2)は文章から立式し、変形する問題であるが、正答率は問1(1)が61.9%、問2(2)は19.7%となった。令和6年度全国学力・学習状況調査にみられる課題(本県)となっている目的に応じて式を変形する力の育成が重要である。
- 4 問題4は、放物線や反比例を題材に、図形の性質を式やグラフに活用し、問題解決する力を問う問題とした。問1の正答率は78.9%で一定の理解と定着がみられた。また、問4、問5の応用問題にも粘り強く解答する姿勢が見られた。問3は直角三角形の合同を証明する問題であるが、特に(2)の直角三角形の合同条件を答える問題の正答率は22.4%と低い。問題を解決するにあたり、論理的に考察する力の育成が重要である。
- 5 問題5は、日常生活に使われる図形を題材に、数学的な見方・考え方を働かせて図形を捉え、問題解決する力を問う問題とした。三角形の高さを求める問1の正答率は50.3%、おうぎ形の面積を求める問2(1)の正答率は43.5%と低い。図形の基本的な知識を問う問題ではあるが、文章の意図をくみ取ることができなかったと推察される。数学的な見方・考え方を働かせて図形を捉え、問題解決する力の育成が重要である。

《 理 科 》

【出題の基本方針】

- 1 自然の事物や現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみる。
- 2 自然の事物や現象について、基礎的・基本的事項を理解し、知識・技能が身に付いているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物や現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。ヒトの生命を維持する働きについて、血液成分の働きや血液循環、心臓のつくりを理解できているかを問う問題である。細胞呼吸の語句と動脈血が流れる血管を選択する問題は正答率が65%を超え高かった。一方、問3(2)の心室が収縮して血液を送り出すときの弁のようすを選択する問題は正答率が29.3%と低かった。ヒトの体のしくみについて、呼吸数や拍動数の変化など、日常的な体験と関連付けて科学的に探究する態度を育てたい。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。物質の分離について、沸点の違いによってエタノールを多く含む液体に分離できることを、蒸留実験を通して考察する問題である。問2の蒸留におけるガスバーナーを消す前の実験操作の注意点について理由を答える問題は、正答率が63.9%と高かった。一方、問3は質量と体積から計算した密度の値を用いて、蒸留で得られた成分の混合割合を見出す必要があり、正答率が32.7%と低かった。
- 3 問題3は、地学分野に関する出題とした。地球の自転と公転について、空間的に把握し、地球上で観察できる現象と関連付けて理解できているかを問う問題である。問1の南中高度の変化と地球の公転のようすを問う問題は、正答率が70.7%と高かった。一方、図と説明文をもとに南中高度の計算式を導く問2(1)と夏至の日に地球上の各地点で観測される昼間の長さ、日射量の違いについて考察して選択する問2(2)の正答率はそれぞれ、25.2%、10.9%と低かった。時間的・空間的な視点でとらえ地球の公転や地軸の傾きと関連付けて比較する思考力を身に付けることが必要である。
- 4 問題4は、物理分野に関する出題とした。電磁誘導について、電流と磁界との相互作用や直流と交流の違いを理解しているかを問う問題である。全体的に正答率が低く、実験の設定や与えられた条件などを整理し、規則性や関係性を見いだすことに課題が見られた。特に、問2の磁界の変化による誘導電流の向きを問う問題は正答率が16.3%と低かった。日常生活を支えている電気エネルギーやワイヤレス充電器の仕組みなど、身近な現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度を育てたい。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。微生物の働きについて、実験結果を分析し考察できるかを問う問題である。全体的に正答率が高く、対照実験について理解し、実験結果から正しい考察ができていた。一方、問4の自然界の炭素の移動を、呼吸や光合成、食物連鎖などと関連付けてとらえる問題は正答率が23.8%と低かった。
- 6 問題6は、化学分野に関する出題とした。燃料電池に関する実験結果から水素と酸素が反応する体積の比率を求め、水の電気分解とは逆の反応であることを理解しているかを問う問題である。問3の燃料電池内で起こる化学変化を化学反応式で表す問題は正答率が37.4%と低かった。化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する力の育成が必要である。また、化学反応式を作成する技能を身に付けることが必要である。
- 7 問題7は、地学分野に関する出題とした。マグマからできる火成岩の観察を通して、火山岩と深成岩の組織の違いができる仕組や分類について科学的な視点によって理解できているかを問う問題である。問4(1)の有色の鉱物の割合を求める問題は正答率が21.1%と低かった。火成岩の組織についてはマグマの冷え方と関連付けて考察する思考力を身に付けることが必要である。
- 8 問題8は、物理分野に関する出題とした。水中の物体に働く力や、力のつり合いと物体に働く重力と浮力の関係を考察できるかを問う問題である。実験結果を分析して解釈し、水中で圧力が働くことや物体に働く水圧と浮力との定性的な関係を考察する思考力を身に付けることが必要である。

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身に付いているかをみる。
- 2 短い英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を捉え、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常的な話題について、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 日常的な話題や社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや図表なども参考にしながら、必要とする情報や要点を正確に読み取る力を見る。
- 5 まとまりのある文章を読んで、概要や要点、書き手の考えなどを正確に読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の短文や短い会話を聞いて内容を理解する問題、及び市立美術館についてのやや長めの会話を聞いてその特徴を捉える問題では、正答率が75%を超え高かった。しかし、助言に基づいてチラシに適切な英文を書く問題では正答率が約25%と低かった。普段の授業において、まとまりのある英語を聞いて、聞いた内容をふまえて、話したり書いたりする複数の領域を統合した言語活動の充実が求められる。
- 2 問題2の文と文をつなぐ適切な表現を答える問題の正答率は約80%であり、昨年度の約35%から大幅に向上した。しかし、授業中の英語によるやり取りの中で使用される表現を答える問題は正答率が約25%、同じ内容を別の表現で言い換える問題は約30%、文脈に合うように英文を完成させる問題は約25%と低く、課題が見られた。普段の授業において、教員と生徒がクラスルームイングリッシュを使用する機会を増やしたり、生徒が様々な語彙や表現に触れ、既習表現を繰り返し活用して話したり書いたりする言語活動の充実を図る必要がある。
- 3 問題3は、日常的な話題についてやり取りする際に必要となる基本的な表現や、自分の考え等をまとまりのある英語で述べる表現力をみた。テーマ英作文の正答率は約17%であり、昨年度よりも上昇したが、依然として低く、移動手段を尋ねる英文を答える問題も正答率は約20%と課題が見られた。普段の授業において、スモールトーク等の言語活動を実施し、中間指導等を行ったり話したことを書く活動を実施したりして、正確な知識の定着を図ることが求められる。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、「多文化共生社会」、「おすすめの弁当」、「AIについての意見交換と発表」を題材とした読解問題を出题した。問1では英文を的確に理解し概要や要点を読み取る力、問2では目的・場面・状況に合わせて情報を読み取る力、問3では複数の意見を比較しながら理解し、概要や要点を読み取る力をみた。適切なグラフを選択する問題は正答率が約75%、条件を満たす弁当を選ぶ問題は約65%と高く、また、その他の問題も正答率は40%以上であり、実際のコミュニケーション場面を意識した「読むこと」の言語活動が行われていることが伺える。今後もさらにその充実を図ることが求められる。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、太陽光発電についての中学生の発表原稿を読んで、本文の概要や要点などを理解する力をみた。適切なイラストを答える問題の正答率は約75%、文と文の関係を捉え適切な英文を答える問題の正答率は約65%と高かった。しかし、下線部が指示する具体的な内容を抜き出す問題は約35%、発表の聞き手のコメントを完成する問題では約20%と低かった。普段の授業において、様々な発問をとおし、深い理解を促したり、読み取った内容やそれについての自分の考えを英語で表現したりする活動の充実が求められる。